

まえがき

『鉄腕アトム』は、科学の進歩による輝かしい未来を描いた作品だと思われるがちですが、実は人間の欲望や科学文明の暴走、人種間をはじめとしたさまざまな対立など、現代社会におけるあらゆる問題点への示唆に富んだ作品です。代表エピソードである「地上最大のロボットの巻」には、ロボットの帝王を目指し戦うただけに造られたブルートウが、自然災害からまちを救うために敵対していたアトムに手を貸すシーンが描かれています。ブルートウに向かってアトムが言う、「ありがとう」の一言が印象的です。

自分の気持ちに正直なアトムは、ほかのエピソードでも、時にはにかみながら、時に力強く、時に満面の笑みを浮かべて、相手の好意に「ありがとう」という言葉で応えます。「地上最大のロボットの巻」は切ない結末でしたが、アトムの「今にきつと、ロボット同士なかよくケンカしない時代がくると思います」という言葉で、未来に希望を託し幕を閉じます。

手塚治虫の講演内容をまとめた『ガラスの地球を救え』（光文社、一九九六年）に、『鉄腕アトム』におけるテーマの一つは、ディスコミュニケーション（相互不理解、対人コミュニケーション不全）である、と書かれています。その観点からすると、相互不理解こそがアトムにとって最

大の敵であり、それを解消するためにアトムは戦うのです。そしてこの考えがアトム通貨の根底に流れています。

また、『ガラスの地球を救え』には、地球はすべての生命にとってかけがえない星であること、生まれ育った宝塚への郷愁や、路地裏の文化について、子どもは、大人からの真剣なメッセーじに必ず耳を傾ける感性をもっていること、もし宇宙ステーションで育った子どもがいたら、その子は、国境の認識がないことなど、現代人に贈るたくさんさんのメッセーじが書き綴られています。そのメッセーじを、「環境」「地域」「教育」「国際」というテーマに置きかえ、そこからアトム通貨の理念が生まれています。そうした意味からも、この『ガラスの地球を救え』は、「ありがとうのカタチをつたえる『THANKS MONEY アトム通貨』」にとってのバイブルなのです。

日本のマンガ・アニメの先駆者である手塚治虫は、偉大なる思想家でもあります。日本の文化として輸出されるまでに成長したマンガとアニメは、今や世界に羽ばたき、その先鞭となった手塚作品もいろいろな言語に翻訳されています。併せて手塚治虫の想いやメッセーじも、世界中に、そして次の世代へと広く永く伝えていかなければなりません。そうした思いから「アトム」の名前を冠に、「ガラスの地球を救え」を理念にするアトム通貨の本が出版されることは、大変喜ばしいことです。

ぜひ、本書で THANKS MONEY アトム通貨の魅力を堪能ください。

あへん

第1章

人とまちの関係を築くためのツール

— THANKS MONEYアトム通貨のシステム設計

3

- 1 アトム通貨の概念と、ほかの地域通貨との違い（概念編） 5

コラム1

 御菓子司「青柳」の「くりまんアトム」 13

- 2 アトム通貨のシステム解説（基本編） 22

- 3 アトム通貨を導入したことで得られた効果（作用編） 39

- 4 アトム通貨のブランド価値と地域ブランド創造（応用編） 54

第2章

地域のカラーを活かしたコミュニティ・デザイン

— アトム通貨の全国展開 67

- 1 早稲田・高田馬場支部 68

第3章

アトム通貨のブランド・デザイン

——本部広報戦略とイベント実施例

123

1 胸を張ってみんなに知ってもらおう——本部広報戦略 124

「付録1」アトム通貨とまちづくり 120

コラム2 「中国厨房一番飯店」の「特製上海焼そば」 122

2	川口支部	75
3	札幌支部	82
4	新座支部	87
5	和光支部	94
6	八重山支部	101
7	春日井支部	108
8	新宿支部	112
9	女川支部	116

 第4章

まちが教えてくれたこと

——歴代学生事務局長奮闘記とスタッフの思い出

171

2 環境は人とまちをつなぐ大事なキーワード——エコ・アクション・ポイントモデル事業 142

3 ラジオと商店街の親和性——チャレンジ25キャンペーン 146

4 立ち上げられ企業市民——内藤とうがらし再興プロジェクト 153

コラム3 高田馬場駅の発車ベルと壁画 170

1 集まり散じて人は変われど 仰ぐは同じき「理想のまち」 172

2 アトム通貨から受け継いだ想い 178

3 「土地とともに生きる」ために 184

4 学生としてのまちづくり論——かぎられた年月のなかで 190

5 アトム通貨が教えてくれたこと——立場へのこだわりを捨てて見えたもの 196

6 一〇年目のアトム通貨と未熟者たちの成長 202

7 ヒトマチプロジェクトを通して「地域」への関わり方を考え、行動した一年 208

執筆者一覧と支部の連絡先 258

アトム通貨年表 251

あとがき 247

第5章

座談会

アトム通貨秘話

誕生から全国展開

11	10	9	8
私の思い出の店④	私の思い出の店③	私の思い出の店②	私の思い出の店①
イル・デ・パン	茶のつたや	クリーニングシヨップ郡司	もちだ酒店
220	218	216	214
「付録2」社会と大学をつなぐ 222			

アトム通貨で描くコミュニティ・デザイン——人とまちが紡ぐ未来